

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第3回高松市創造都市推進懇談会（U40／2期）
開催日時	平成27年3月16日（月） 18時30分～20時30分
開催場所	市役所3階 32会議室
議 題	どうすれば瀬戸内芸術祭に来たお客さんに高松市美術館へ来てもらえるか
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	甘利委員、児島委員、坂口委員、高島委員、田中委員、谷委員、中筋委員、西成委員、英委員、人見委員、松岡委員、眞鍋邦委員、眞鍋康委員、森委員、山家委員、若宮委員
職 員	宮武、佐々木、佐野、平田、溝渕、長井、吉峰、次田、和田末澤、高田、永木、田山、石川、中村、内海、渡邊、林田、三木、今井、藤本、山田、杉野、藤目
傍 聴 者	0人 （定員 5人）
担当課および連絡先	産業振興課 創造産業係 839-2411

審議経過及び審議結果

1 開会

委員

U40facebookの発案者から今回の意図と意気込み、課題点など説明
課題

- ・ facebook をしていない人はどうするか
- ・ 投稿のルールを決めたらいいと思う

2 議題

ワークショップ

どうすれば瀬戸内芸術祭に来たお客さんに高松市美術館へ来てもらえるか

職員

（今回のテーマ設定について説明）

職員

（資料1説明）

委員

アンケートの対象者は？
⇒瀬戸芸開催の任意の期間に、港でランダムに実施した県のアンケート結果。インターネット上で公開されている。資料の宿泊者数もアンケート結果のデータから計算した。

審議経過および審議結果

委員

今回は港からの導線を考える？

自分の感覚では、瀬戸内芸術祭に来て、イサムノグチ庭園美術館や猪熊弦一郎現代美術館に来る人は多いと思う。それとの比較は？⇒イサムノグチは高松市の2倍の来館者。猪熊美術館は3倍。

市美への来館が少ないのは導線の問題なのか、コンテンツの問題なのか。

委員

瀬戸芸前は、直島へは岡山方面から来ている人が多かった→2010・2013の瀬戸芸では高松港からのアクセスの良さもあり、高松を拠点にした島めぐりが増えた。データでは2泊以上が多く、高松での宿泊が多いということ。

高松をどう使うか。高松はかゆいところに手が届かない感じ。例えば駅前にドラッグストアがないし、ホテルも充実してない。街中に美味しい瀬戸内の魚を食べられるところがないなど、宿泊と食事の問題がある。

あとは、地元の人からの空気感が冷たい。瀬戸芸のお客さんと地元の人との補助線をどう引くかという点についても、ここで議論できればと思う。

委員

(今日のグループワークについて説明)

(各グループのワークショップの内容については別紙参照)

委員

美術館を中心としたUXをどう考えるか。どういった経験を与えることができたかを考えるワークショップだった。今日の手法はいろんな分野で応用がきくので是非参考にしてほしい。

※UX (ユーザーエクスペリエンス)

ある製品やサービスを利用したり、消費した時に得られる体験の総体。個別の機能や使いやすさのみならず、ユーザーが真にやりたいことを楽しく、心地よく実現できるかどうかを重視した概念である。

会長

最後にまとめとして、創造都市と今日の議論を結びつける。

人口減少時代の都市政策の一つが創造都市という考え方。人口減少ということは、税収減。税収が減ると、小さな行政をめざすというのが自然な流れであり、それは高松市でいえばコンパクトエコシティという政策に見ることができる。ハード面の施策としてコンパクトエコがあるとすれば、創造都市はソフト面の施策である。

しかし、税収が減れば都市を縮めれば良いのかというと、そうとも言い切れず、持続可能な都市環境づくりには、一定の経済の振興が不可欠である。しかし、大量生産、大量消費の時代は終わり、人口が減るということは、単純に国内消費が減るということでもある。そこで創造都市の考え方をカンタンに言えば、これまでの産業の振興が文化を牽引するという考え方から、文化が産業を牽引していくというあり方への転換。文化の一つに、アートは数えられる。瀬戸芸は、現代アートが、都市の交流人口を増やしたことで、地域経済にその効果が波及した好例。

瀬戸芸はトリエンナーレだが、常設として高松市美術館がある。文化が経済を

牽引していく、その文化の一つのランドマークとして、美術館はもっと多くの人に親しまれ、創造都市の拠点、創造都市高松の顔になるべき存在ではないか。

今回の議論は、その方法を、瀬戸芸の開催期間中を想定して考えたものである。宿題で出していただいた3つは、広く「文化」としてくくることができるものである。それら一つひとつが創造都市高松の顔として立ち、機能することが今後求められる。機能するとは、その文化が経済を生んでいくということである。それらのアイテムをフックに交流人口を増やすというのは、観光振興につながる一つの施策ではあるが、それ以外の可能性もまだまだあると思われる。今後、議論の拡がりを期待したい。

3 その他

事務局から事務連絡

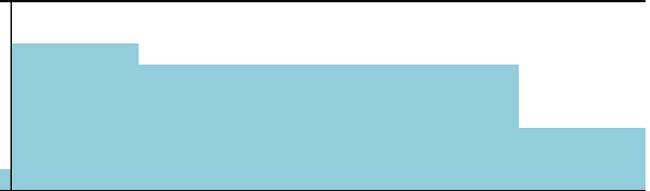
カトリーヌさんの場合

	訪問前	訪問中	訪問後
テンション			
具体的な行動	美術館までのアクセスを調べる	タクシー利用 漆器を見る 子どもがぐずる→寝る	仏生山温泉のことを知り、行ってみる
考えていること	街中で誰に聞いたらいいのかわからない 日本文化に触れたい お店やごはんやさんに入るのが不安	ベビーカーがほしい 住民が食べているものが食べたい	お遍路について知りたい お遍路のコスプレをしたい 港以外の場所にも芸術祭のサポートショップがあったらな 屋島に行ってみたいな
感じたこと		美術館の人が美味しいお店を教えてくれたらな 座ってゆっくり見たい お遍路に興味があるけど、ここではお遍路にまつわるものはなかったな 子どもが退屈しないような体験型のものがあればいいな 閉館時間が早い 美術館前からタクシーに乗りたいたいけどいない。呼んでくれないかな	まちに温度差があるのでは いろんなお店や場所で、芸術祭パスポートとの連携があればいいな

【施策】ここにしかない、高松でしか出会えない美術館

- ・瀬戸芸のイントロとしてモデルコースに入れる
- ・「朝市美」でお得な情報とクーポンゲット（商店街で使えるクーポンとか）
- ・朝時間無料
- ・昼間は島に行くので、開館時間を12時～22時にずらす
- ・ナイトミュージアム
- ・インパクト、エッジがない
- ・カトリーヌさんがわざわざ見たいと思うものがない
- ・わざわざ来たいと思わせるような環境づくり
- ・ローカルに特化した展示をする、市文化の展示（例：円座・東谷農村歌舞伎など）
- ・お遍路文化の体験
- ・市美ならではのお土産物をつくる（漆器とか？）
- ・コンセプトを決める（市民向け・県外客向け）
- ・写真スポットをつくる（テンションの上がる場所）
- ・明確な運営方針は？誰がトップなのかわからない
- ・学芸員のための展示ではなく、市民を大切に外へ目を向けてほしい
- ・無料ゾーンを増やす
- ・市民が集う場に
- ・港への直行バス、高松空港からの直行バスを出す。空港でもPR
- ・美術館で荷物を預けられてホテルまで運んでくれる
- ・外国語の情報をもっと
- ・美術館は全国各地にあるが、美術館ごとの個性はあまりない気がする
- ・ニューヨークタイムズで2015行くべき場所50選に四国が入っているが、そういうのに行政も反応していけたらいいのに。

五十嵐さんの場合

	訪問前	訪問中	訪問後
テンション			
具体的な行動	雑誌Discover Japanの瀬戸内特集を購入 音大時代の親友3人で、瀬戸芸の旅を企画 飛行機(羽田-高松)で高松へ 高松港からフェリーで直島へ 地中美術館などを巡り、ベネッセハウスへ 美味しいごはんを食べながらガールズトーク 2日目の昼ごはんまで直島で過ごして、午後高松へ。	レンタサイクルを利用しようとしたが、手続きが分からず断念 市内の移動は基本的にタクシー 疲れたので市美の中のカフェに入る	タクシーでオーベルジュドゥオオインへ オオインで美味しい晩ごはん(魚料理をいただく) 旅の最後の夜を、美味しいお酒&ガールズトークで楽しむ 3日目(最終日)はイサムノグチ庭園美術館へ 山田家でお昼ごはんを食べ、お土産うどんを配達手配 飛行機で東京へ
考えていること	美味しい魚料理、食べれるかな? 直島行のフェリー、結構混んでるな。 アートな島たび、癒されるな	荷物を持ち歩くのは嫌 レンタサイクルをどこでどうやって借りたらいいかわかにくい 島たびで疲れたから座りたい 美味しいコーヒーが飲みたい 美術館に来ないと食べられないスイーツとかないかな ハイセンスなミュージアムショップがあればいいな 高松らしいお土産ってなんだろう? どこにでもありそうな美術館だな アート鑑賞以外にも何かイベントがあったらみるのにな まちなかや美術館は(人も含めて)あまり瀬戸芸を意識してないのかな	瀬戸内海ののんびりした感じは、東京では味わえないな 直島が良かったな
感じたこと	瀬戸内海の島たびは初めてだから楽しみ♪ ベネッセハウス素敵! 優雅な時間	外は暑かったから涼しい 美味しくないコーヒーを出すくらいならない方がまだ ジョージナカシマの家具でひとやすみできるのは嬉しい 美術館前にタクシー乗り場があったらいいのに 夜は19時で閉まるの早いな	オーベルジュからの眺めに感動! 瀬戸内のお魚、美味しい!!

【施策】コンセプトを持ったミュージアム

旅行のメインからちょっとずらしたところで、行きたくなるようなものをしかける
時間帯も昼間は島に行くので朝と夜にポイントを

瀬戸芸に来るお客さんは、瀬戸内海の風景や島での体験が旅のメイン。高松は宿泊するためのところ。
だとすれば、

■暑さや島たびで疲れた身体を癒す時間

- ・ポーターサービス
- ・コンシェルジュが旅をサポート
- ・美術館前にタクシー乗り場を

■高松ならではの食・もの・空間・人etcを体験する時間 **ここにしかないもの**

- ・ナイトミュージアム
- ・美術館エントランスでナイトヨガ(紺屋町で大好評！)
- ・ラウンジやおしゃれなbarがあったらいいな
- ・瀬戸芸とはコンセプトをずらす。アートではなく、クラフト・工芸、音楽や演劇、ダンス等のパフォーマンスアートの充実
- ・歌舞伎をやって、春にまた金毘羅歌舞伎で香川をリポートしてもらおう
- ・クラフト、高松の手仕事を味わえる場を

カフェ

- ・おいしいコーヒーと紅茶が必須！安っぽいものを出すくらいならない方がまし。
- ・ここにしかないスイーツ(企画展と連動したものetc)が食べられる
- ・ジョージナカシマの家具でお茶ができる
- ・おしゃれな絵画×おしゃれな音楽×おいしいケーキセット

ミュージアムショップ

- ・ハイセンスなもの、特にハイセンスな子供向けのものを取り扱ってほしい。
- ・高松ならではの土産で美術館らしいもの。
- ・シューレで売っているようなもののイメージだけど、シューレとのすみ分け

日本一長い商店街に隣接する、まちなかオアシス的「都市型美術館」=にぎわいや交流の創出

吉本くんの場合

	訪問前	訪問中	訪問後
テンション			
具体的な行動	瀬戸内クルーズチケット(京都→三宮)2400円+ジャンボフェリーガイドブックを購入 おいしいうどんやをネットで検索 1日目は小豆島めぐり&土庄で宿泊 SNSで発信	2日目は女木島・男木島巡り&花園町のゲストハウス若葉屋で宿泊 ゲストハウスで情報ゲット ゲストハウスで出会った人と、晩ごはんを食べに行く(レンタサイクル) 骨付きどりのお店で晩ごはん SNSで発信 3日目はバカー代で朝うどんを食べて大島へ 港から電車で仏生山へ 仏生山温泉に入る 夜ご飯は瀬戸内魚料理屋さんへ SNSで発信 4日目 最終日 ゲストハウスを出て、高松駅に行く途中に市美に立ち寄り 高松駅でレンタサイクルを返却し、猪熊弦一郎現代美術館へ 大阪まで高速バスで帰る SNSで発信	
考えていること	この時期に高松・香川でおもしろいイベントはないかな どんな人と出会えるかな 乗り換え時間に、近くでどこか行けるところはないかな 荷物は少なくして身軽に行こう	島に行くのに荷物を置いていきたい。コインロッカーが空いてよかった 瓦町でレンタサイクルを借りたいのにどこで借りたらいいのかわからない 商店街で美味しいごはんが食べたい。どこで飲もう？ まちの中の移動の距離感が全くわからない 仏生山温泉には行くけど、仏生山ってほかに何があるんだろう？ お土産を買いたいけど、高松のお土産物ってなんだろう？ 次は秋祭りの時期に来よう！ 卒論のテーマになりそうだ 帰ったら父親に話して、また父親と一緒に高松に来よう	
感じたこと	ネットで調べても高松の情報が少ないな 小豆島、島なのにデカイな バスがないなんて!徒歩か…。	めおん超満員！ 女木島って近い！ まちの情報はどこで手に入れたらいいの？どこに何があるかわからない。 瀬戸芸で盛り上がっているのは俺たちだけ！？ まちの人たちは瀬戸芸のことをどう思っているんだろう？ 商店街長いなー！これが丸亀町か！	

【施策】市民が日常的に楽しめる美術館 キーワードは『まちのテンション』

まちのテンション

- ・県内外で瀬戸芸のイメージが違う
- ・自分事ではない
- ・県民性かも？
- ・まちの人が瀬戸芸のメリットを感じていない
- ・瀬戸芸をどう利用したらいいのかわからない

- ・商店街や周辺地域が芸術祭のお客様ウエルカムって看板を出す
- ・美術館 アート+α（レストラン、カフェ、ショップ）
- ・くらし×アート 暮らしに寄り添ったアートや工芸を。
- ・市民がもっと日常的に楽しめるしかけを。日常的に市民に愛される市美に
- ・飛び出す市美
- ・保育所×芸術士プロジェクトをもっと街中にも

サービス

- ・島のアクセスにあわせた開閉時間。19時に閉まるのは早すぎる。
- ・市美で高松ならではのお土産を買いたい
- ・まちなかマップがあればよい(距離感がわかるもの)
- ・ついでマップ(県内の名所から市美までの所要時間がわかる)
- ・市美のホームページがわかりにくい
- ・市美の自転車置き場がわかりにくい
- ・まちの人が市美の情報を知らない
- ・ホテルの人も市美の情報を知らない
- ・どこに行けば情報が手に入るのか分からない(ホテル・駅・市美など瀬戸芸のお客様が行くところで情報発信)